

様式第 10

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
桜井市	桜井市	平成 23 年度～平成 27 年度	平成 23 年度～平成 27 年度

1 目標の達成状況

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成 21 年度)	目 標 (平成 28 年度) A	実 績 (平成 28 年度) B	実績/目標 ※ 3	
総人口	61,187 人	60,906 人	58,386 人	—	
公共下水道	汚水衛生処理人口	38,052 人	39,592 人	34,836 人	-208.8%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	62.2%	65.0%	59.7%	-89.2%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	0 人	0 人	0 人	%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	0.0%	0.0%	0.0%	%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	3,073 人	6,917 人	6,271 人	83.2%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	5.0%	11.4%	10.7%	89.1%
未処理人口	20,062 人	14,397 人	17,279 人	49.1%	

2 目標が達成できなかった要因

未処理人口の目標達成率は49.1%で目標に達成していない。
公共下水道人口の目標達成率は-208.8%で目標に達成していない。

- ・公共下水道網の普及により未処理人口の減少を見込んでいるが、公共下水道整備の未普及対策交付金の減少や市の財政状況の影響により、公共下水道網の整備普及が鈍化している。また、公共下水道区域の見直しを行なった。
- ・公共下水道が普及している地区にあっても未接続の世帯があるが、若者が同居する世帯が減り高齢者のみの世帯の増加が増えてきており、接続要望が少ないことも考えられる。

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 平成33年度まで

公共下水道における汚水衛生処理人口は、人口減少、公共下水道区域の見直しや市の財政状況を考慮し、平成33年度に36,850人を目標とする。また同様に未処理人口は13,871人を目標とする。

公共下水道計画区域においては、水環境を守るために生活排水処理の必要性を説明する啓発活動を行い接続の推進を図り、また公共下水道計画区域外の地域においても同様の啓発活動を行い浄化槽の設置推進を図る。

(都道府県知事の所見)

当該地域については、次期の循環型社会形成推進地域計画（H28～32）を作成しており、生活排水処理について浄化槽の設置事業を進めているところである。公共下水道についても、当該地域の財政状況により整備が遅れている部分もあるが、今後も公共下水道の整備を継続し、未接続の世帯については啓発活動を行うことで目標値の達成が見込まれる。

今後も各種施策を推進することにより、更なる浄化槽及び公共下水道の普及を期待する。